

## 夏休みボランティア DAY2025 実施報告

阪南市社会福祉協議会ボランティアセンター

- 事業名 夏休みボランティア DAY2025
- 主催 社会福祉法人阪南市社会福祉協議会ボランティアセンター
- 共催 大阪府ボランティア・市民活動センター
- 後援 阪南市教育委員会
- 協力機関 福島地区福祉委員会、漁師鮮度、社会福祉法人さくら、社会福祉法人ぽけっと福祉会
- 協力者 石橋亨弘氏（口筆画家）
- 実施期間 令和7年7月30日（水）～8月18日（月）
- 実施内容 7月～8月の夏休み期間を活用して、おもに、阪南市内の学生を対象としたボランティア体験をする事業です。実際に、日ごろから阪南市内の身近な地域で行われている様々な分野のボランティア活動に参加できるよう、活動機関や活動者と協働して企画運営をしております。
- 実施目的 学生の頃から、様々なボランティア活動に参加し、貴重な体験ができたり、地域の活動者と出会い、ボランティア活動の魅力に触れることで、自分自身の中での『ボランティア』をもっと身近に感じてもらい、自己有用感を高めるきっかけを作ることを目指しております。
- プログラム数 5プログラム  
①事前説明会②憩いの場「ほのぼのカフェ」③漁港を舞台にした「みんなの食堂」  
④高齢施設での夏イベント⑤障がい施設での交流
- 参加者 11名（昨年度：28名）
- 参加者詳細 西鳥取小学校5年生（1）・貝掛中学校2年生（1）・鳥取中学校1年生（1）  
鳥取東中学校2年生（4）・佐野工科高等学校2年生（1）・大和大学1年生（1）  
関西外国語大学3年生（1）・専門学生（1）
- 全体の成果 「多様な人々が、多様な場所で、ボランティア活動ができるように」というテーマのもと、プログラムを多様化し、チラシを一新しました。その結果、小学生から大学生まで幅広い年代の学生延べ28名の参加につながりました。  
今回の活動では、車いすユーザーの学生も参加されました。感想として、「障がいがあっても誰かの役に立ちたい」「チラシを見て、気軽に参加できると思った」という声が聞かれ、テーマに沿った活動ができたことを実感しています。  
活動を重ねるにつれて、参加者の緊張もほぐれ、「自分もみんなも楽しめるように！」という意識が芽生えるなど、活動を通じた成長も見られました。受け入れ先の皆さまからも「来年もぜひ！」という嬉しいお言葉をいただくことができました。

社協 HP ブログにて、活動の報告を掲載しております。



5つの体験コースの詳細い内容については、別紙でまとめておりますのでご覧ください。



# 1. 事前説明会&ボランティアってなんだろう？



●日時 令和7年7月30日(水) 10:00-11:30

●場所 阪南市地域交流館 3階 共用会議室3・4

●参加 6名

●内容・成果 **\*まずはみんなと仲良くなる**

自己紹介を通じて、これから一緒に活動するボランティア同士打ち解け合うことができました。

**\*「ふくし」と「ボランティア」について一緒に考えよう！**

相手の立場になって考える心や、「人とのつながり」の大事さのことについて、グループワークをおこないました。

「ふくしの大切さ」や「ボランティア活動で大切なこと」を学ぶことができました。

**\*プログラム紹介、記念写真の撮影および広報誌への掲載許可のお願い**

各プログラムの持ち物や注意事項の説明、広報誌「ふくしほんなん」や「社協のブログ」への活動中の写真の掲載許可の説明をしました。

●参加者の感想

- ・高齢者の方や障がいのある方など様々な年代や立場の人と触れ合って一人一人の立場に立って物事を考えることを大切にしたい。
- ・たくさんの人とコミュニケーションを取って様々な価値観に触れ、自分の視野を広げたい。
- ・たくさんの人を笑顔にする。コミュニケーションもたくさん取っていき色んなことに挑戦していく。



## 2. 地域住民の憩いの場のお手伝い♪(尾崎鉄筋住宅)



- 日時 令和7年8月5日(火) 10:00-11:30
- 場所 尾崎鉄筋住宅
- 参加 8名
- 内容・成果 毎月行われている福島地区福祉委員会主催のほのぼのカフェのお手伝い。地域の高齢者の方や子どもたちと一緒に昔の遊びやカフェのお手伝い、また夏限定のかき氷をふるまい、地域のボランティアさんや参加する高齢者の方々と世代をこえて交流をすることができました。
- 協働 福島地区福祉委員会
- 参加者の感想
  - ・今回の活動を通して改めたボランティア活動をしていきたいと思った。
  - ・自分が盛り上がることで皆が盛り上がることを学んだ。次のボランティアでは「笑顔」で接することを意識する。
  - ・地域の幅広い世代での交流はとても温かい空気感で緊張していたけど色んな方が話しかけてくれてとても楽しかった。
  - ・小さなことでも自ら動いて少しでも人の役に立ちたいです。



### 3. 漁港にある「みんなの食堂」のお手伝い♪(西鳥取漁港)

●日時 令和7年8月6日(水) 16:00-18:30

●場所 西鳥取漁港

●参加 8名

●内容・成果 月1回西鳥取漁港にて実施している地域食堂『みんなの食堂』の3周年記念イベントのお手伝い。昨年度に引き続き、福祉教育の一環として石橋亨弘さん(西鳥取校区にお住まいで口筆画家)をお招きし、地域のボランティアさんや老人クラブの方々と一緒にイベントを盛り上げました。

石橋さんが描かれた絵の作品の展示コーナーを設け、より一層、石橋さんが今まで活動されてきたことを知ってもらえるきっかけづくりができました。

●協働 株式会社漁師鮮度、西鳥取地区老人クラブ、石橋亨弘さん

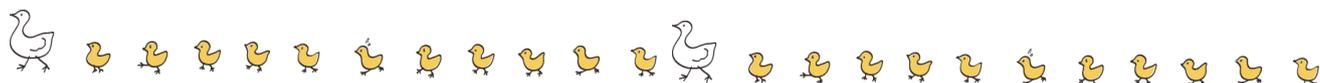
●参加者の感想

- ・最初は無言で接客してしまっただけ、最後には少し話ができるようになって嬉しかった。
- ・みんなが楽しそうでよかった。自分もみんなも楽しめてよかった。
- ・楽しかった。来年もボランティアに参加したい!色々な方と関わることができて良い経験になった。
- ・小さな行動が人の役に立つことを実感しました。誰かのために何かをしたいという気持ちが素晴らしいと感じました。また参加したいです♡



## 4. 高齢者施設での夏イベント(社会福祉法人さくら)

- 日時 令和7年8月10日(日) 11:00-13:00
- 場所 社会福祉法人さくら
- 参加 3名
- 内容・成果 社会福祉法人さくらが年1回実施する夏祭りイベントのお手伝い。  
屋台やヨーヨー釣り、メダル落とし等4つのゲームを高齢者の方々と一緒に楽しみました。
- 協働 社会福祉法人さくら
- 参加者の感想
  - ・高齢者の方とコミュニケーションを取れて楽しかった。改めて福祉施設のことを知れた。
  - ・高齢者の方々の会話など普段あまりしないので、とても楽しかったです。施設の利用者の方が「ウクレレ」を演奏してくれて音色がとても素敵だなと思いました。
  - ・自分も楽しめることができました。高齢の方のお手伝いできて嬉しかったです。



## 5. 障がい施設での交流(社会福祉法人ぽけっと福祉会)

- 日時 令和7年8月18日(月)10:00-11:30
- 場所 社会福祉法人ぽけっと福祉会
- 参加 3名
- 内容・内容 就労継続支援B型事業所の社会福祉法人ぽけっと福祉会の利用者の方々と一緒に普段しているお仕事のお手伝い。  
最初は、ワークセンターぽけっとの施設長の重見さんから施設のお話し。  
その後、実際に利用者さんが普段している請負い作業のパイプ磨きや、クッキーの型抜き作業を利用者の方々と一緒に作業をしました。

### ●参加者の感想

- ・クッキーの型抜き作業を体験し上手にできた。自分も利用者さんも楽しんでもらえたかなあと思った。
- ・パイプ拭きはすごく大変だったけど、綺麗になると達成感もあった。クッキーの型抜き作業は楽しかった。



みんなで作ったクッキー😊

